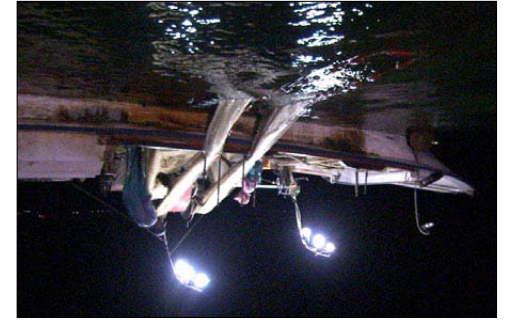




沖島には今年で創立121年の沖島小学校があります。島の誰もが卒業生です。今では、児童数が減り、小学校エドを底引き網で1日に50〜60キログラム捕ります。この小さなエドは大豆と一緒に煮て、名物のつくだ煮「えび豆」になります。春はアユやニッコロフナ、夏はシラスやウロロという小魚、秋はワカサギやスジエビなど。四季に応じてさまざまな魚が捕れ、つくだ煮やワカサギなど、おいしいびわ湖の幸に なります。

沖島小学校

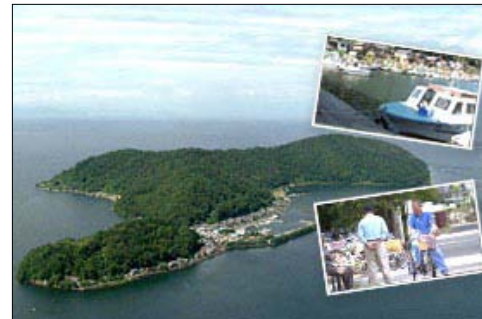
旅の見どころ 3



深夜に行われるスジエビ漁

旅の見どころ 2

びわ湖の沖合に浮かぶ、周囲6.8キロメートルほどの沖島。国内で唯一淡水湖の中で人々が暮らす島で、330人の島民のほとんどが漁業に携わっています。島には車もなく、狭い路地で人々は支え合っています。びわ湖で夜通し、スジエビを狙う漁師夫婦。給食を船で運ぶ島の小学校。都会で大げがをして戻った故郷で、島の風景を手芸作品に込める女性。湖の小さな島、支え合う日常をみつめる旅です。



島の移動手段は3輪自転車
沖島には自動車がない島です。島で人々が使う主な移動手段は、後ろにカゴのついた3輪自転車です。カゴの中には、農機具や収穫した野菜、島の外で買ってきた日用品や食料など。この自転車ですらなくても運びます。自動車が走らない島はとて静かです。耳を澄ますと聞こえるのは、とんびが優雅に舞い鳴く声や、島に住むネコの声、そして静かな湖の水の音。自然の音に包まれます。



小さな旅

～こころのふるさとをみつめて～

コブック vol. 117

湖にうかぶ 故郷
～滋賀県 沖島～

2013年10月27日(日)放送

アクセス方法
沖島通船
沖島港⇄堀切港 (1日11往復 約10分)
<電車>
東京から:
JR新幹線のぞみ→「京都駅」JR東海道線
→「近江八幡駅」(約3時間)
JR新幹線のぞみ→「名古屋駅」JR新幹線こだま
→「米原駅」JR東海道線→「近江八幡駅」
(約2時間40分)
<バス>
JR近江八幡駅から:
近江鉄道バス(①蓬莱場:休暇村行き/路線バス)⇄堀切港
(約35分)
赤こんバス(1)島・沖島町コース/市民バス)⇄堀切港
(約35分)
<車>
名神高速「龍王IC」→堀切港(約35分)または、
名神高速「彦根IC」→堀切港(約40分)

memo



小さな旅 ホームページ
<http://nhk.jp/kotabi>